

方言から見る広島，そして瀬戸内

方言は、地域の生活に結びついた言葉という基本的な性格は維持しつつも、社会の変化に伴い、その性格を変えています。この講座では、方言の今を見つめるとともに、方言を通じて、広島県や瀬戸内海地域のくらしや変化するすがたを考えていきます。

■日 時：平成 24 年 4 月 14 日・4 月 21 日・4 月 28 日・5 月 12 日
毎回土曜日 10：30～12：00（全 4 回）

■会 場：広島県立図書館会議室（広島市中区千田町 3 丁目 7-47）

日 程	テ ー マ	講 師
4 月 14 日(土)	現代方言事情	県立広島大学保健福祉学部教授 友定 賢治
4 月 21 日(土)	広島方言を知るための 4 つのポイント！	県立広島大学保健福祉学部教授 友定 賢治
4 月 28 日(土)	瀬戸内海方言の東西・南北流通	尾道大学芸術文化学部教授 灰谷 謙二
5 月 12 日(土)	芸予諸島の言語と文化 －蜜柑農家の渡り作とことば－	呉工業高等専門学校准教授 岩城 裕之

■受 講 料：無料

■募 集 人 数：30 名

■対 象：どなたでも

■申 込 方 法：往復はがきで、往信面の裏に、①郵便番号、②住所、③名前、④ふりがな、⑤電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前（「〇〇様」）をご記入の上、平成 24 年 3 月 29 日（木）（消印有効）までに下の申込先にお送りください。

申込多数の場合は抽選となります。受講の可否は申込締切日以降に返信はがきでお知らせします。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

■申 込 ・ 問 合 先：

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71

県立広島大学地域連携センター「方言講座」係

電話 0 8 2 - 2 5 1 - 9 5 3 4（平日 9:00-18:00）

■主 催：広島県立図書館，県立広島大学地域連携センター

(返信面の表)	(往信面の裏)
○ ○ ○ ○ 様	①郵便番号 ②住所 ③名前 ④ふりがな ⑤電話番号

講座内容

第1回 現代方言事情

友定 賢治

方言は時代によって、その性格がずいぶん異なりますが、現代は「かわいい方言」といった見方もあります。いろいろな場面で用いられる方言の実態から、現代の方言について考えていきます。

第2回 広島方言を知るための4つのポイント!

友定 賢治

広島方言の特徴を知るうえで大事な4点をあげたいと思います。それは、(1)「中つ国」の方言、(2)広島方言のイメージ、(3)広島の「ジャ」はなぜ変わらないのか、(4)広島県内でのことばの動き、です。これらを通じて、広島という地域の特質もみえてきます。

第3回 瀬戸内海方言の東西・南北流通

灰谷 謙二

瀬戸内は経済・文化・方言の流通路となっています。それは東西の大きな流れと、本州と四国をつなぐ南北の流れを持ちます。瀬戸内の「おへそ」にあたる、しまなみ海道周辺の方言の状況から、どのような瀬戸内海方言のすがたが見られるか、またこれが今後どういう方向に向かっていくのかについても考えてみたいと思います。

第4回 芸予諸島の言語と文化—蜜柑農家の渡り作とことば—

岩城 裕之

大崎下島大長の蜜柑農家は、全国的にも珍しい「渡り作」の習慣を持っています。「渡り作」とは、自家用船を操り、近隣の島などの畑に通い、蜜柑栽培を行うことです。一方、芸予諸島の他の島ではこのような習慣は見られません。芸予諸島の農家の「風のことば」に焦点をあて、島々を比較しつつ、島の農家の世界観を明らかにしていきます。